

本資料は、米国アッヴィ社が 2018 年 1 月 26 日(米国時間)に発表したプレスリリースの日本語抄訳版です。資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料の詳細(英文)については、<https://news.abbvie.com/news/abbvie-reports-full-year-and-fourth-quarter-2017-financial-results.htm> をご覧ください。

## PRESS RELEASE

2018 年 2 月 13 日(米国時間 2018 年 1 月 26 日発表)

### アッヴィ、2017 年度通年および第 4 四半期の業績を発表

- 2017 年度通年の希薄化 EPS は GAAP ベースで 3.30 ドル、16.2%増の成長を反映し調整後希薄化 EPS は 5.60 ドル
- 2017 年度通年の売上高は 282 億 1,600 万ドル、営業ベースでは前年同期比 10.1%増
- 2017 年度通年のヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで 14.6%増、営業ベースで 14.4%増の 184 億 2,700 万ドル
- 2017 年度通年のイムブルピカ®\*の全世界での売上高は 40.5%増の 25 億 7,300 万ドル
- 第 4 四半期の希薄化 EPS は GAAP ベースで 0.03 ドル、前年同期比 23.3%増の成長を反映し調整後希薄化 EPS は 1.48 ドル
- 第 4 四半期の売上高は、営業ベースで 12.6%増の 77 億 3,900 万ドル
- 業界トップの売上成長率約 13%を反映し、2018 年度の売上高の見通しは 320 億ドルに迫るものと予測
- 2018 年度 GAAP 希薄化 EPS の見通しを 6.45~6.55 ドルと発表。2018 年度の調整後希薄化 EPS の見通しを、中間値における 32%の成長ならびに業績の向上および米税制改革の影響を反映し、7.33~7.43 ドルに引上げ
- 米国内の資本プロジェクトに今後 5 年間で約 25 億ドルの投資を計画。2018 年には慈善団体の選定に 1 回限りの寄付金として約 3 億 5,000 万ドルを拠出するほか、管理職以外の従業員の報酬およびその他の手当の強化にも投資を計画

\*日本ではヤンセンファーマ株式会社が販売

米国イリノイ州ノースシカゴ、2018 年 1 月 26 日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2017 年度第 4 四半期(2017 年 12 月 31 日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「2017 年度は、昨年度に引き続き最高の業績を反映し、当社事業の強い勢いが示されました。2018 年度の見通しは、

業界をリードするパフォーマンスを実現し続ける能力に対する自信を明確に示しています。アツヴィは、エキサイティングな時期を迎えています。今後数年にわたり大きな成長を促すと期待される差別化された製品を、今後 12～18 カ月の間にいくつか発売する準備をしています。今後も長期的戦略ビジョンの実現に努めます」

#### 第 4 四半期の業績

- 第 4 四半期の全世界での売上高は、GAAP ベースで前年同期比 13.9%増、為替レート変動による 1.5%の影響を除いた営業ベースで 12.6%増の 77 億 3,900 万ドルでした。
- ヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで 14.0%増、為替レート変動による 1.7%の影響を除いた営業ベースで 12.3%増となりました。第 4 四半期の米国内でのヒュミラ®の売上高は 15.1%増でした。米国外では、為替レート変動による 5.2%の影響を除いた営業ベースで 6.5%増でした。
- 第 4 四半期のイムブルビカ®の全世界での売上高は、38.7%増の 7 億 800 万ドルで、そのうち米国内の売上高は 5 億 8,500 万ドル、米国外の利益配分による売上高は 1 億 2,300 万ドルでした。
- 第 4 四半期の売上総利益率は GAAP ベースで 70.5%でした。調整後売上総利益率は 79.0%でした。
- 売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAP ベースで 25.2%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 21.2%でした。
- 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAP ベースで 18.1%でした。調整後の研究開発費の割合は、パイプラインへの投資を反映し、17.1%となりました。
- 第 4 四半期における GAAP ベースの営業利益率は 23.2%でした。調整後営業利益率は 40.7%でした。
- GAAP ベースの純支払利息は 2 億 5,200 万ドルでした。
- 2017 年度の業績は、2017 年 12 月の The Tax Cuts and Jobs Act (米国税制改正法) 制定に関連した 1 株あたり正味費用 0.77 ドル(希薄化後)を反映したものです。この正味費用は、未還流利益に対する約 45 億ドルの強制課税の一時的影響を含むものであり、税務関連の貸借対照表項目の再評価により一部相殺されています。この金額は、規定どおり処理され、調整後希薄化 EPS から除外されています。第 4 四半期の GAAP ベースの税率は、95.6%、調整後の税率は、18.9%でした。
- 第 4 四半期における希薄化 EPS は、GAAP ベースで 0.03 ドルでした。調整後希薄化 EPS は、特定項目を除き、23.3%増の 1.48 ドルでした。

## アッヴィについて

アッヴィは、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する革新的な先進治療薬の開発に努める研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、オンコロジー、ウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。

よろしければ Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie) もフォローください。また、人材情報は [Facebook](https://www.facebook.com/abbvie) や [LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) ページもご参照ください。

## アッヴィ 今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、SECに提出済みのアッヴィの2016年度アニュアルレポート(10-K書式)の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。